

荒神山宿泊研修

班のめあて

げんきにたのしくがんばるうねえ～

班のメンバー

加藤寧音 松尾彩音 布施柚果
向あおい 村田士龍 吉田純輝

1. ウォークラリー

男子がくもの巣を勇かんにとり、てくれたり、危ない所はみんなで声かけしたりと、班の人が困った時は班全体でカバーしあえた。他の班とも協力し、頂上で見ることができた景色は忘れられないものになった！



よか、たこと・学んだこと

- ・つらくても笑顔→そういうふんいき大切！
- ・一人に任せることなく協力したから達成できた！

2. 宿泊

早寝早起きをして、みんなでシーツなどをたたみ、来た時よりもきれいに片づけられた。また、初対面の人にも声をかけ、クラスの間を越えて絆が生まれた。



- ・集団生活では時間を厳守
- ・(身長差があっても)協力をした

3. KAP活動

パタパタで0.95秒の新記録を出した。そして、失敗した時もふんいきを盛り上げ、フォローし合うことができた。



- ・一人一人が今何をするべきなのを考え行動できた。
- ・荒神山に行、たからこそその経験ができた。

4. まとめ

一人一人が仲間を思いやる心を持って協力することができたね！これからも、クラス全員でこれらを意識して助け合い、さらにきずなを深めていこう～！

メッバー

荒神山

2班

- 大翔 湊生 奈
- 菅大 悠 絆 優 彬
- 畠田 木 林 藤 井
- 横八 鈴 若 末 赤



ベチたりたか
 ちたりたか
 て上げたり
 っを認し
 合ン確認休
 しョをく
 援シ調度し
 応一休リ後
 危険な場所
 後続に注意
 喚起し
 先導が
 をかた
 おかた
 班を
 くる
 場所
 注意
 喚起
 先導
 がた

- ・バッドメイキングを2組と協力することができた。
- ・寝る時の明かりのつけ方を、他の人の意見も聞いてやることができた。

- ・初めは男女に分かれてたが、後半にいくつかが協力できた。
- ・あまより話したことのな
- ・い人とも話せた。
- ・いろんな方向からものを
 見ること学んだ。
- ・素直になることを学んだ。

まとめ

協力し合って
 絆が深まった。
 目標を達成
 できた。



荒神山宿泊研修

1年 1組 3班

メンバー

山田 麟
出口 尊

新川 怜香
籠谷 宥哉

伴 奈々子
森田 陽斗

三坂 奈由

① ウォークラリー

ウォークラリーを通して、みんながみんなのために積極的に声かけをしてくれて、仲間と一緒に困難を乗り越えられた。



みんなが協力でき、仲間の新たな一面を知ることができた。

② PA活動

協力して、いろいろなチャレンジをクリアしていき、ことができた。また、その中で、あまり話したことがない人とも、話すことができた。



人の意見を聞いたり、自分の意見を話したりできた。

③ 宿泊体験

ベッドメイキングでシーツを一緒にひくときに、感謝を伝えることができた。感謝されたらうれしかった。そして、一緒に時間を過ごすことで仲良くなれた。



仲間との協力の大切さを学んだ。人に感謝する大切さを学んだ。

まとめ

仲間と協力することで絆が生まれた。
これからもこの絆を生かして互いに助け合いながら物事を行っていきたい。

4班 荒神山 宿泊研修を通して

ワークラリー

- ★ みんなと違う道で行ってしまっただが、無事頂上にたどり着けた
→ **達成感**を得られた
- ★ 仲間と協力して110分数え切った!
→ 声が途切れず、みんな暗くならなかった。
- ★ 誰かがこけたりしたら、「大丈夫ー?」と、みんなで声をかけた。
→ みんなで協力する大切さを知った。

寺小駒谷横波林	浦池村川田多野	さ	佑	く	花文衣伊	ら音葉佳織
						也
						朗

PA活動

- ・ パタパタ(0.95秒)
→ 記録更新あきらめずに!
- ・ パイプライン(成功!!)
→ 工夫を重ねた!
- ・ グラスホッパー
→ 心を一つにして 何度も挑戦

レクリエーション

- ・ スィンバスターゲーム
→ あまり関わったことなかった人とも話せた
- ・ ワードウルフ
→ たくさん話せて仲が深まった

↓↓
楽しかった!

まとめ

- ・ 物事に一生けん命に取り組むと大きな達成感を得られる。
- ・ 「協力する」という精神と持ち続けることが大切。

荒神山 宿泊研修

5 はん

松原
鯉迫
山根
重田
岩木
大野
西川

克樹
百香
莉子
晴咲
詠生
暖輝

ウォークラリー

- 1問目スルーしたから戻った。
- ↳ 会話が增え 仲が深まった!
- 頂上でさげんだ。
- ↳ 心がひとつ!



KAP 活動

- 紙を使って鬼ごっこをしたり、じゃんけんしたり。
- ↳ 単純な遊びでも奥が深い!
- ふり返りをした
- ↳ みんなの心の中を聞いた

レクリエーション

- シンパシーゲームで合わせるのが難しかった。
- ↳ お互いについて考えた
- ワードウルフで会話がうまれた
- ↳ 2組の人とも仲良くなれた

まとめ

- ・ 協力することの大切さ → 絆が生まれた。
- ・ 話すこと(男女関係)の大切さ → 新たな一面を知れた。
- ・ 相手のことを考えて行動する → 仲が深まる。
- ↳ これからも自分だけじゃなく、周りも見ながら協力し、色々な人と関わ。て絆を深めていきたい。



荒神山宿泊研修

6班

メンバー
 宮川 西波 松廣 松本
 副 上森 松本
 泰結 辺高 田本
 地吹 緑高 絢心
 花吹 梅花 実

① ウォークラリー

- 想像の倍くらい大変だった
- すべりそうな場所もあり、危険だった。

よかたこと、学んだこと

- 山登りは大変だったがみんな声をかけ合い、休憩しながら登れた。

- 協カレ合いながら!!
- 楽しみながら登ることができた

猫じゃらしを持ち、みんなで登山! (しかし、あまりにもきつく、手ばなしてしまう。)

② PA活動

- 紙おにごっこ
- グラスホッパー
- ジップパタパタ
- 人間あやとり
- ピタゴラスイッチ

よかたこと、学んだこと

- 協カが大切
- しゃかり意見言う
- まわりをよく見る

～まとめ～

- 仲間と協力することで内容が充実した活動ができた。
- クラスの絆をこえて仲間との絆を深めることができた。
- 仲間と協力することの大切さを学んだ。

★ これからの学校生活では、仲間との関わりを大切にしていきたい!!

③ 学年レクリエーション

- 1組の考えたシンパシーゲームと2組の考えたワードウルフをした。
- 2組の人と交流

よかたこと、学んだこと

- 2組の人と話せた。
- 仲を深めることができた
- 自分たちが考えたレクリエーションを楽しむことができた。



荒神山石井 珍

15

TOPIC 1 KAP活動

その活動をどうしたら上手くいくかを考え、共有した。→みんなに積極的に話している人が話題をふった方がよかった。

TOPIC 2 学年レクリエーション

1組2組男女混合でグループにした。

→新しい関わりができた。

TOPIC 3 ウォークラリー

山登り+下り

→みんなで「協力 話す 笑う 遊ぶ」をして楽しみながらできた。

まとめ- 気づいたこと、これから生かすこと

1. 声かけをする時、人と人の壁がなくなる
2. 楽しみながら学ぶことが大切
3. ふり返りが大切

荒神山の振り返り 2班

ワークラリー

よかったこと

- ・気づかいができた。
- ・楽しめた
- ・協力できた。

学んだこと

- ・お互いを気づかうことでまとまる。
- ・協力できたことで みんなが楽しめた。

↓
達成感!

KAP活動

よかったこと

- ・個性をだせた。
- ・みんなと関わられた。
- ・安全に楽しめた。
- ・計画→実行→振り返りができた。

学んだこと

- ・振り返りをし他の人と 学びや反省を共有し、次にいかすことが大切。
- ・話をするだけでなく、話を聞き理解することも大切。

レクリエーション

バスレク

- ・お祝いの言葉
- ・いい雰囲気楽しめた。
- ・盛り上がっていた。

クラスレク

- ・普段あまり話さない人と話すことができた。
- ・ 絆を深めることができた。



まとめ

(お互いの気づかい)

(協力)

・周りを見て行動する。→みんなが楽しめる!!

・人と関わり協力していく中で仲が深まり、新たな一面も知ることができた。

・今後も積極的に人と関わり仲を深めていきたい。

荒神山での学び

TOPIC 学んだこと

①ウォークラリー

- 他の班と競いながら、
困っている人を助けた。 → 勝利だけに
こだわらない
- 得意な人が苦手な人に
教えた。 → 班・クラスでの
協力が大切

②KAP活動

- 自分に与えられた番号を
全員が踏むタイムを競う。 → 失敗をおそれず、
一回挑戦してみる
- 出てきた意見を
みんなで実行できた。 → 人の意見を
しっかりと理解する

<まとめ>

勝負ごとにも協力が大切

「話す」

得意なことを
仲間に伝える

「聞く」

人の意見を
しっかり聞く

「実行する」

教えてもらったこと
などを実行する



荒神山



メンバー

- ・清水雄太、阪口 愛輝
- ・道智 瑠菜、星田 唯
- ・白川新奈、宮脇 晴也
- ・札幌有紗



ワークラリー

- ・足をくじいて、ケガをしてしまった人の分まで荷物を持って一緒に歩いてくれた人がいた。
- ・時間を合わすために全力で走りながら山を下った。
- ・先に行っていた人が後ろの方の人を待っていた。



- ・助け合いは大切。
- ・目的に向かってつき進めたこと。
- ・協力できたこと。

〈まとめ〉

- 〜学校生活で生かすこと〜机の上の整理, 班の協力
- 〜学んだこと〜目標設定, 友達は大変
- 〜感想〜寝ることが幸せだった(A.S.君) 🙄

自由時間

- ・1組の人や先生とカラムなどをして関わり合えた。
 - ・先生などとも関わり合えた。
- ↓
- ・知らない人とも関わり合えるもの。
 - ・知らない人とも話してみよう。

夜

- ・少しだけ話して寝た。
 - ・ロッカーを片付けた。
 - ・爆睡した。
- ↓
- ・整理整頓は大事
 - ・ルールを守る。
 - ・睡眠は大事
- 🙄

END

号外号外

今回13件のTOPICと遭遇!!

第20回 壁外調査レポート ~ 荒神山編 ~

KAP活動

班の目標は仲間と協力して全カ人ががんばろう。人ががんばる。レクリエーションでは、仲間と協力することや、コミュニケーションを大切に箱に気をとられていた。レクリエーションのふり返りをした。安全にゴールできた。

トピック2

1日目のふり返り

時刻は午後8時。いつもなら、みんな課題をし始める頃。変な感じがしました。1日目のKAP活動等のふり返りをした。私たちが。終始、班長などのリアル秋刀魚の筆箱に気をとられていた。良かったことへ良かったこと

良かったこと
温かい声かけをして、それぞれが、それを共有し合うことで、思いを一つにできた。

次の日、我々5班のウォークラリーに、その深めた信頼関係を発揮したのだ。



トピック3

ウォークラリー

は、班のおんなが付けてこれているかを確認したり、つかれてきたら励まし合い、危ないところは教え合いながら、安全にゴールできた。

良かったこと
感じたこと

良かったこと
班で協力して、安全に山登りを、楽しむことができた。

最 & 高/幸

仲間がいて、助けてくれるこのクラスは、



全員のまとめ



- これから協力して、とりあえず楽しんで「き・な・こ」を達成するぞー (いきん)
- この活動で学んだことは一人ではできないことなので、学校でも、周りの人と協力していきたい (矢野)
- 一人一人が違う価値感をもっていることを改めて知って、おもしろいと思った。これからは楽しみー (木下)
- 今回の学びをもとにこれからとりあえず年間行事と協力して学校生活を過ごしたい! (新井)
- どうすれば集団が上手く動けるのかがよく考えられました! (徳江)
- いつもはしゃべっていない人とも話す機会が出来て、交流を深められてとても良かったです。 (徳野)

荒神山 ~3つのエピソード~

発行者

澤優月 黒田菜緒
山高佑果 鍛冶新太
兼松杏衣 田中敦樹
西村宗一郎 6班一同

エピソード①

KAPで印象に残った4つの活動について発表します。

KAP活動

① ガッちゃんおに

×男女バラバラだ、た積極的に活動してないペアが決まっていた

② 人のせゲーム

○男女一緒に活動できた作戦を立てられた

③ ホッパ

○積極的に発言できた最後まであきらめなかった周りに教えあえた

④ パイプライン

○みんなで声をかけ合えた協力して取り組めた一致団結して頑張った

⑤ KAP全体のまとめ

・男女関係なく1つの(車輪)になれた！
・仲間の声で雰囲気が変わった。

エピソード②

各部屋の様子

~みんなの青春物語~

in男子部屋

○男子部屋では最初は荷物を散らかしていましたが、1組と協力して片づけをしたことにより最終的には整理ができ、1組との仲が深まりました。

in女子部屋

○私たちの部屋でまず最初にしたのは自己紹介。組をこえて関わりができました♪
○次にしたのはベッドメイキング！ここでは二人1組になって、仲間と助けあう大切さを学びました♪

（課題）
（一つずつのことに成長する）
（私たちは自分のベッドが一番好きです）

ウォークラリー

① 声かけ

○先頭の人を中心に声をかけ、最後の人とまっしぐらに取れていった！

② クイズ

○みんなと協力して、ポストなどのクイズの答えを一緒に探せた！

③ 歌

○登り始めに歌を熱唱！（主に女子）楽しくやるのがやっぱりいいなと思った出来事です。

まとめ

- ・班の人と協力し、仲がより深まった。
- ・みんなと相談したり、教え合ったりすることが良いことだと学んだ。
- ・男女やクラスのわくを超えて、色々な人と関わりができました。
- ・さまざまな活動を通して、自分から声をかけ合うことの大切さを学んだ。
- ・部屋での交流やベッドメイキングで1組との仲を深められた。
- ・ウォークラリーでみんなと協力し合っ、楽しむ事が出来た。
- ・相手からではなく、自分から関わりが深まることの大切さを学んだ。